

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

---2023年12月19日・第103号---

<目次>

●どうなっている、PF1方式の等々力緑地再編整備

■COP28が明らかにした「川崎市の水素戦略」の誤り

▲お知らせコーナー

☆12/19 情報公開制度を活かす川崎市民の会 23年度活動報告・学習会

☆12/20 川崎市社保協第30回定期総会記念講演「社会保障と私たちの生活サイクル」曾根貴子

☆1/21 ゆめシネマ「ガザ 素顔の日常」

★編集後記

●どうなっている、PF1方式の等々力緑地再編整備

川崎民主市政をつくる中原区の会は、12月12日、第1回「市民のためのまちづくり学習会」を開催しました。

講師の橋本稔さん(小杉・丸子まちづくりの会)の報告をもとに「公園・緑地へのPFI方式導入の問題点」をレポートします。

中原区の等々力緑地は面積43.5haで、東京ドーム(4.7ha)9個分の広さがあり、長年にわたって、緑の森や運動広場・釣り池・スポーツ施設など市民の憩いの公園として親しまれてきました。

近年フロンターレなどの試合に多くのファンが競技場を利用する一方、施設の老朽化や水害事故などで、プールとハス池がなくなり、市民ミュージアムは、台風による水害被害で閉鎖されてしまいました。

至るところで雑草が茂り、樹木の管理も行き届かない状況になっています。

住民からは、緑地の整備を求めるたくさんの要望が寄せられてきました。

しかし、川崎市は自らの責任で「公共の整備」をするのではなく、民間企業に「再整備」を丸投げしようとしています。

<PFI導入による公園・緑地の民営化>

等々力緑地再編整備については、すでに昨年2022年11月に民間事業者の選定が決まり、今年2023年1月に東急株式会社を筆頭とする特別目的会社「川崎とどろきパーク株式会社」を設立しました。

東急、富士通、丸紅、オリックス、フロンターレ株、大成建設、フジタ、東急建設など、大企業が共同出資し落札価格は577億円と巨額です。

<PFIによる事業者の緑地整備計画の概要>

- ・等々力陸上競技場を釣り池の西側に移転し、跡地に球戯場専用スタジアムを建設
- ・ミュージアムを解体しアリーナとスポーツセンターを建設
- ・現テニスコートや多目的広場を駐車場に
- ・緑地の中央の等々力球場北側に散策路や子どもの遊び場を設ける
- ・中央園路を廃止。釣り池の東側に外周園路を設置する
(インターネット「等々力緑地再編整備運営等事業 事業概要」で検索)

<等々力緑地の多目的広場にオートキャンプ開設！>

とどろきパーク株式会社が4月から管理・運営をはじめました。

住民無視の開発計画はすでにその弊害が生まれてます。

アリーナと釣り池の間に広がる芝生広場、子どもたちがサッカーやボール遊びに訪れていますが、ここに等々力パーク株式会社がオートキャンプを開設しました。

土日には10数台の車が芝生地に乗り入れ、テントを張って家族連れでバーベキューなどを楽しんでいます。

先日、近所の人々が夕刻散歩していると、ドラム缶が赤く燃えていました。

焚火の火を消さずに帰った後でした。近くでは子どもたちがボール遊びもしていました。とても危険な状態です。

公園の芝生広場に車を入れることも問題です。入り口には、花火・焚火禁止の看板も立っていません。

等々力株式会社は運営権を持っているから何をしても良いと考えているのでしょうか。

このまま進めば、等々力緑地は大規模なイベント会場になり、緑豊かな市民が憩える公園の姿は消えて行くのではないかと心配です。

あまりにも規模が大きくて、市民がどういう意見を出していけるのか雲をつかむようですが、等々力緑地再編が大企業のぼろもうけの事業になるのではないかと案じられます。

■COP28 が明らかにした「川崎市の水素戦略」の誤り

今年の夏は、地球の歴史の中でも一番暑かったと言われています。

世界中で、猛暑、日照り、水害、山火事が相次ぎました。

このまま、気温上昇が続けばどうなるか。

環境省は、「2100年・未来の天気予報」なる動画を作成し、インターネットに提供しています。

それによれば、東京の真夏日は105日、熱中症により全国で12万人が死去、風速65m/秒、最大風速90m/秒という巨大台風が接近、大雨により各地で川の氾濫が続くとしています。

地球沸騰の危機感のもと、開催されたCOP28が、アラブ首長国連邦の首都、ドバイで開催されました。

そして、難航の末に全会一致で、「すべての化石燃料からの脱却」を決定しました。

この会議には、岸田首相も参加し、この決議に賛成をしたのです。

しかし、日本はG7(先進7か国)の中で、唯一、石炭からの撤退期限を決めていません。

日本のエネルギー基本計画では、2030年の電力の19%は石炭火力としています。

さらに、岸田首相は「水素やアンモニア混焼で火力発電所の二酸化炭素を削減する」との演説を行い、「化石賞」を受賞しました。

世界の気候危機への取り組みに背を向けた演説に、批判が集中したのです。

この日本政府の誤った気候変動対策に無批判で追随しているのが、川崎・福田市政だと言っているのではないのでしょうか。

福田市長は、9月議会の冒頭で、次のように演説しています。

「臨海部の持続可能な発展に向けた取組につきましては、3月に、我が国初の大規模水素サプライチェーン構築に向けた実証事業の受入れ地として川崎臨海部が選定されたところであり、このことは、カーボンニュートラルなエネルギー供給拠点の形成に向けた大きな一歩と考えております。

この6月には、水素利活用の拡大に向けた地域間連携の強化のため、東京都及び大田区と3者で協定を締結いたしました。

そして、「JFE スチール株式会社東日本製鉄所京浜地区の土地利用に係る土地利用方針」では、「扇島を水素を軸としたカーボンニュートラルの拠点とし、バース(港湾ふ頭)を活用した港湾物流拠点として活用する」との方針を進めています。

これに2030年までに市税約210億円、2050年までに市税2050億円を拠出する計画です。

<川崎市の計画をみてみましょう。>

- 水素の製造は、オーストラリア現地で褐炭を燃料にして作る、「グレー水素」です。
- 水素の運搬は、大量のエネルギーを使って、水素を253度まで冷やし液体化し縮小します。すでに、この段階で、「グリーン水素の国内生産」という世界水準から外れています。
- 水素の主な使用は、天然ガス火力発電所でガスと水素を混焼するためです。これが、COP28で、岸田首相が演説し、「化石賞」を受賞した方針そのものなのです。

気候危機は加速しています。日本の誤った気候変動対策を変えるために、ぜひ、川崎市が科学の到達点からの検討と、世界的視野での検討を行い、「水素戦略」から「臨海部を再生エネルギー拠点にする戦略」へと方向転換すべきです。

川崎の水素戦略の転換は、川崎市政と国政の大きな争点に浮上しています。

▲ お知らせコーナー

☆情報公開制度を活かす川崎市民の会 23年度活動報告・学習会

12/19日(火)18時～20時

高津市民館 第6会議室(12階)

問い合わせ先:070-5574-8006

(畑山)

[詳細はこちらから](#)

☆川崎市社会保障推進協議会第30回定期総会

記念講演「社会保障と私たちの生活サイクル」

講師 曾根貴子(保団連・中央社保協運営委員)

12/20(水)午前9時半～

かわさき総合自治会館 第1・第2会議室

☆ゆめシネマ「ガザ 素顔の日常」

1/21(日)⑨時 ② 12時 ③ 15時 ④ 18時

かわさきゆめホール

一般:1,000円 障がい者:500円 学生以下:200円

当日(連絡無し:各500円増)

044-433-3003 ゆめホール

cinama@kawasakiyume.com

予告動画

<https://www.youtube.com/watch?v=TaI8QPXYVXA&t=2s>

★編集後記

毎日新聞は17日、世論調査による岸田内閣の支持率が16%だったと報じました。不支持率は79%、内閣支持率の調査を始めた1974年以来最も高かったといえます。

遑って12日、マイナンバーのひも付け誤りなどのトラブルに関する点検結果を受け、岸田氏は来秋に予定している健康保険証の廃止に関して「予定通り実施」を表明した。これまで「(廃止は)国民の不安払拭が大前提」と繰り返してきたのに。

「聞く力」を看板にした岸田氏ですが、実際は、現実を見ず、国民の声を聞かず、真実を語らない。厚顔無恥のペテン師と言っても良い。

安倍派によるパーティー券キックバック問題の根源は、そもそもパーティーをやって政治資金を集めることが容認されていることが問題です。

銀行振込にすれば解決するようなことはありません。

国民の声は政治資金パーティーの禁止。その声も岸田さんには届かないか。(Y)

☆☆チェンジかわさき!☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき!☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/1kMi7KNIVa1M?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡をお願いします。

mailmag@newkawasaki.jp